



我が県土
支え育む
希望郷

美しい

県土づくりNEWS

2021年

8月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 205 号
令和 3 年 8 月 31 日発行
編集 県土整備企画室



復興支援10年
ありがとう

目次

- 2 主要地方道釜石遠野線笛吹峠地区の全面通行止めを解除しました
- 4 花巻空港の滑走路舗装改良工事（2箇年目）を進めています！
- 5 災害時に備え排水ポンプ車による訓練を実施しました！
- 6 女性社員による現場見学会を開催しました
- 7 中学生を対象とした建設業の体験学習会を実施しています
- 8 若者向けにWi-Fi付き県営住宅を提供しています
- 9 Twitterによる通行止情報の発信を開始しました！
- 11 滝ダム見学会開催！

高田松原海水浴場が 11 年ぶりに海開きしました！

令和3年7月17日（土）に高田松原海水浴場が11年ぶりに海開きしました。

これにあわせて、高田松原津波復興祈念公園の供用エリアが拡大し、海水浴場に向かう道路・駐車場、タピック45周辺が新たに利用できるようになりました。



主要地方道釜石遠野線笛吹峠地区 全面通行止めを解除しました

県南広域振興局土木部遠野土木センター

道路擁壁基礎部の土砂崩落に伴い全面通行止めとしていた、主要地方道釜石遠野線笛吹峠地区の規制を、**令和3年7月9日(金)11:00**に解除しました。厳しい現場条件の中、施工業者の協力のもと工期短縮に努めた結果、**予定時期を約1ヶ月前倒し**しての解除となりました。

当地区は、令和2年4月に道路擁壁基礎部の土砂崩落が判明し、道路崩落の危険性が高く、復旧には相応の日数を要することから、同年4月8日から当面の間全面通行止めとしていました。

解除当日は、通行止め解除を心待ちにしていた住民の方々や、各報道機関も訪れ、バリケードの解放とともに、道路パトロールカーを先頭に一般車両が通行していきました。



▲位置図



▲解除直前の様子



▲解除直後の様子

整備効果

○暮らしの安心・質の確保

主要地方道釜石遠野線は、釜石市の国道45号を起点とし、遠野市の国道283号に至る延長約37kmの路線です。遠野市青笹町、釜石市橋野町の住民を始め多くの人々が利用する路線であり、通行止めを解除したことにより、**暮らしの安心・質の確保**が期待されます。

○観光地へのアクセス回復

本路線は、釜石市の世界遺産「橋野鉄鉱山」への内陸部から唯一のアクセス道路であり、今回整備されたことにより、**観光地へのアクセスが回復**しました。

○走行時の安全性・快適性の向上

崩落箇所は元々、道路幅員 3.9m と狭小でしたが、今回の工事において 1.5 車線整備(幅員 5.0m)を行ったことにより、**走行時の安全性・快適性の向上**が期待されます。



▲施工前(最小幅員W=3.9m)



▲施工後(幅員W=5.0m)



本路線は カーブがきつく、幅員が狭小な箇所がいくつか存在します。引き続き、待避所の整備や見通しの悪い箇所の枝払い等を行っていきませんが、通行する際には速度を控えめに、譲り合って安全に利用していただくようお願いいたします。

【空港整備事業】

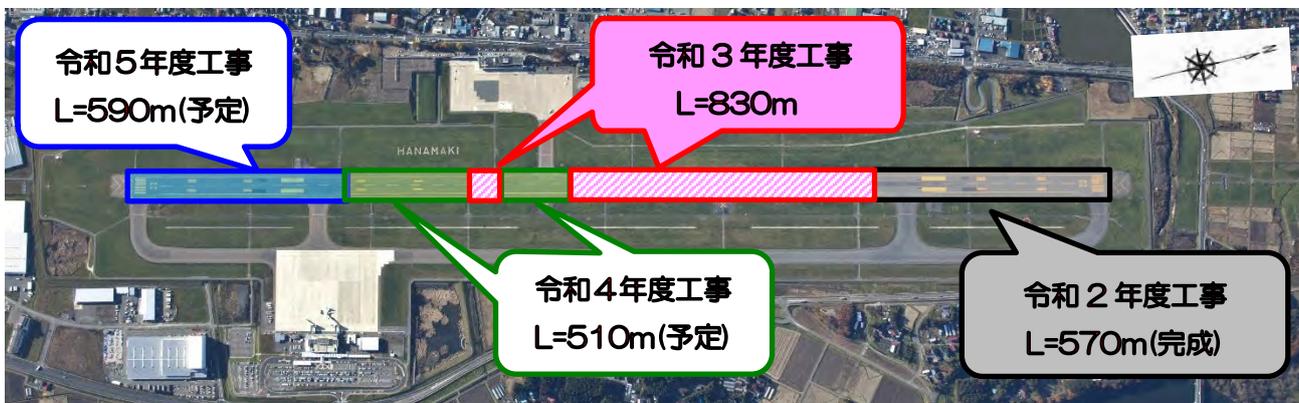
花巻空港の滑走路舗装改良工事(2箇年目)を進めています！

花巻空港事務所

花巻空港では、現在の滑走路 2,500mでの供用開始から 15 年以上が経過し、滑走路面の劣化が進んでいることから、令和2年度から 4 箇年に渡り、「航空機の走行安全性能回復」を目的とした滑走路舗装改良工事を実施しています。今年度の工事は 4 箇年で最も施工延長が長く、延長 830m に及ぶ工事となります。

空港工事では、日中は旅客機等の運航が行われていることから、滑走路内での工事が実施できないため、空港を閉鎖している夜間にのみ実施しています。

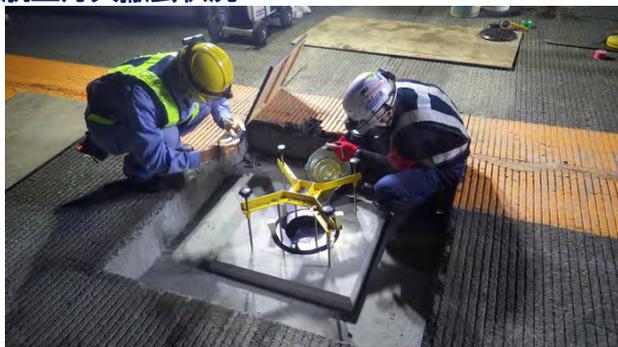
工事は、50m/日程度を目途に路面の切削、舗設、既設路面への擦り付けを 1 サイクルとして、翌朝までに 1 サイクルを完了するよう、安全面・工程面に細心の注意を払いながら実施しています。



令和3年度 滑走路舗装改良工事 概要

工期	令和3年3月 29 日から令和3年 11 月 30 日まで
工事内容	アスファルト舗装工 46,060m ² 、路面切削工 46,060m ² 、 グルーピング工 37,290m ² 、飛行場標識工 2,830m ² 、 航空灯火工(撤去再設置) 1 式
工事費	約 3.3 億円

航空灯火撤去状況



アスファルト舗装 施工状況



7 月末時点で航空灯火撤去、および滑走路本線のアスファルト舗装工が完了しました。

この後、航空灯火の再設置、グルーピング工の施工を行い、積雪期前までの完成に向けて引き続き工事を推進していきます。

災害時に備え排水ポンプ車による訓練を実施しました！

県北広域振興局土木部

県北土木では、令和元年台風第19号にて浸水被害が生じた二級河川沢川において、大規模な出水が想定される場合には、国土交通省所管の災害対策用機械(排水ポンプ車)の応援要請を考えております。

そこで、排水ポンプ車を稼働させる際に、迅速な対応ができるよう訓練を実施し、排水作業の段取り等を確認しました。



【災害対策用機械(排水ポンプ車)の応援要請とは】

自治体等は、災害時に「東北地方における災害等の相互応援に関する協定」に基づき、国土交通省東北地方整備局へ排水ポンプ車の応援要請をすることができます。

【実施状況】

当日は、地元自治体や消防団にも参加していただき、過去の出水時の状況を踏まえたポンプ投入位置の検討などを行いました。

現地で活動していただく皆様に参加していただき、とても有意義な訓練となりました。

排水ポンプ車

ポンプ投入

沢川

ホースブリッジ

【備考】

特に大規模な災害時は、国土交通省が県内外の状況を広域的に判断するため、応援要請を行ったとしても、必ずしも要請のとおりにならない場合もあります。

【主催】 岩手県

【参集】 久慈市、久慈市消防団、株式会社山崎組(排水ポンプ設置)

【協力】 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

女性社員による現場見学会を開催しました

～いわて女性の活躍促進連携会議 けんせつ小町部会の取組～

建設技術振興課

令和3年7月9日（金）に「けんせつ小町部会」において、県内の建設産業で活躍する女性社員を対象に八幡平市の「ハロウインターナショナルスクール新築工事」の現場見学会を開催しました。

当日は、31名の女性社員の方が参加し、工事現場の見学を行った後、当該現場で働く女性技術者を交えた意見交換会を行いました。

初めに、工事の進捗状況、現場の安全対策について説明をいただいた後、実際の工事現場内を見学しました。現場は、冬季間の降雪量が多く、その間は主に建物の内装工事を中心に作業を行い、現状では一部の建物は、外部の仕上げ作業を行うなど完成間近なものもありました。

また、夏季の熱中症対策として、現場に入る前に水分補給をさせること、休憩の都度水分補給ができるよう現場事務所敷地内と工事現場内に給水所を設置していました。

意見交換会では、当該施設の施工者である鹿島建設㈱の水野 美嶺さんから、現場での担当業務や、現場でのコミュニケーションの秘訣、また、女性技術者が継続して働くための会社としての取組などをお話いただき、それらの内容について意見交換を行いました。

参加者からは、「話題となっている現場を見られて良かった」、「女性技術者が生き生きと働いている姿をみて刺激を受けた」など、好意的な意見が寄せられました。

今後も、建設産業で働く女性社員の活躍推進に向けた取り組みを行っていきたくと考えております。

【現場見学会等状況】



【現場見学の様子】



【意見交換会の様子】

【ハロウインターナショナルスクールの概要】



イノベーションセンター棟（地上2階 延べ床 2195.15 平米）

ハロウインターナショナルスクールは 450 年の伝統を誇るイギリスのハロウスクール・ロンドンのグループ校として、2022 年 8 月に八幡平市安比に開校予定の全寮制の学校です。

施設として、イノベーションセンター棟、科学棟、音楽・ダンス棟、スポーツ棟、図書館・食堂棟、寮棟が設置される予定です。

中学生を対象とした建設業の体験学習会を実施しています。

盛岡広域振興局土木部

当部では、建設業への入職・定着促進事業の一環として、建設業への就業感・就労意識の形成・向上を促すことを目的とし、平成30年度より中学生を対象とした学習会を実施しています。

体験学習は、(一社)岩手県建設業協会盛岡支部及び(一社)岩手県測量設計業協会から協力をいただきながら現場見学や重機操縦・測量体験を行い、建設業の醍醐味、面白さ、重要性を伝えております。

実施状況



橋梁工事の現場見学



ドローンの操作体験



モーターグレーダーの操縦体験



バックホーの操縦体験

体験後の感想やアンケートでは「大きい重機でも操作は簡単だった、女性の自分でもできそう」・「億単位の金額を管理している現場代理人カッコいい、自分もしてみたい」・「今回の学習で建設業へ興味を持った、就職先の候補の一つに考えたい」等、多くの生徒から建設業を楽しく知ることができた・興味を持ったとの回答があり、主催者側としてやりがいのある学習会となっております。

体験学習については、今年度は4校を実施予定として進めており、現時点で2校が実施済となっております。

(※今後の実施については新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて判断します。)

若者向けに Wi-Fi 付き県営住宅を提供しています

(令和3年度県営住宅活用促進モデル事業)

建築住宅課

建築住宅課では、若者の移住定住の促進、県営住宅等のコミュニティの活性化及び県営住宅ストックの有効活用を図るため、18歳から39歳までの方（学生を除く）を対象として、自治会や町内会活動への参加などを条件に、Wi-Fi環境を整備した県営住宅を提供しています。詳しくは、HPを御覧ください。

県トップページ > くらし・環境 > 住まい・建築 > 県営住宅

「若者向けに Wi-Fi 付き県営住宅を提供します（県営住宅活用促進モデル事業）」

■対象団地 3市6団地、合計30戸

●盛岡市：県営松園アパート、県営松園東アパート、県営松園西アパート

●北上市：県営大堤アパート、県営藤沢アパート ●奥州市：県営北野アパート

■部屋使用料(月額) 25,000円～45,000円 Wi-Fi使用料金を含みます。

駐車場使用料(1,300円～1,700円)、共益費、町内会費が別途必要となります。

■間取り、専用面積 2DK,2LDK,3DK,3LDK 52.22㎡～83.22㎡

■入居要件(主なもの)

- ①県営住宅の自治会活動及び当該住宅が所属する町内会の活動に積極的に参加すること。
- ②地域における地域再生やコミュニティ活性化の取組に積極的に参加すること。
- ③県が実施するアンケートに協力すること。 ④暴力団員でないこと。(同居者を含む)
- ⑤申請日時点で18歳以上39歳以下であること。 ⑥学生でないこと。
- ⑦3か月以上の使用を希望していること。

■その他

- ・通常の県営住宅への入居とは異なり、収入基準や抽選はありません。
- ・入居に際しては、1年ごとに更新の手続きが必要となります。

【例】県営松園東アパート 1号棟 205号室 2LDK 55.6㎡ 30,000円/月



Twitterによる通行止情報の発信を開始しました！

～令和3年8月10日「道の日」から運用開始～

道路環境課

1 Twitterによる通行止情報の発信について

■概要

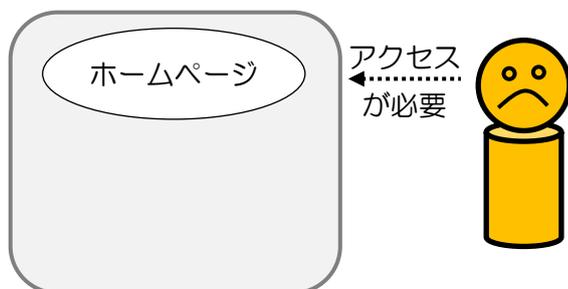
県では、道路利用者の皆様への更なる行政サービス向上を目的として、[令和3年8月10日（火）の道の日](#)から[Twitter](#)を活用した[県管理道路の通行止情報の発信](#)を開始しました。

■発信される規制情報

[道路管理者が実施する通行規制](#)（工事通行規制、災害時通行規制、冬期通行規制）のうち、[通行止が伴う規制情報](#)（全面通行止、時間帯通行止、大型車等通行止）がTwitterで発信されます。

■通行止情報を取得する際のイメージ

○これまで



○令和3年8月10日以降



2 利用方法について

- ・ [岩手県道路情報提供サービスのホームページ内の専用ページ](#)から[各地域のTwitterアカウント\(各土木部又は土木センター名\)](#)をフォローします。
- ・ フォローした各土木部又は土木センターが実施する通行止の情報がお手元のスマートフォン等に届きます。（詳細は次ページ又は以下のQRコード先を参照してください。）



岩手県道路情報提供サービス
ホームページ



利用方法説明資料

3 その他

- ・ 道路管理者が全ての通行止情報をTwitterで発信するのは東北6県で初の取組です。
- ・ 本アカウント(各土木部又は土木センター)は情報発信専用のため、本アカウントにお寄せいただいた御意見や御質問等には対応できません。

4 利用方法

1. パソコン用ページの場合

① 岩手県道路情報提供サービスにアクセス！



2. スマートフォン向けページの場合

① スマートフォン向けページにアクセス！



② 専用ページから、知りたい地域の「QRコードを撮影」又は「クリック(タップ)」して各土木部・土木センターのアカウントにジャンプ！



撮影でも！



クリック(タップ)でも！

③ 各地域の各土木部・土木センターのアカウントをフォロー！



知りたい地域の土木部・土木センター名であることを確認ください。

「岩手県道路情報提供サービス」の公式アカウントであることを明示しています。

④ フォローした土木部・土木センターの通行止情報が届きます！



【問合わせ先】

岩手県県土整備部道路環境課 維持グループ

電話：019-629-5880 FAX：019-629-9124 E-mail：AG0004@pref.iwate.jp

滝ダム見学会開催！

県北広域振興局土木部 滝ダム管理事務所

7月27日（火）小久慈市民センター主催の「こくじっ子地元企業見学会」に応募されていた久慈市内の小学生と引率者の計13人が滝ダムを訪れました。

この催しは、久慈市小久慈地区にある滝ダムや小久慈焼陶芸苑、山のきぶどうで有名な佐幸本店などを見学し、『地域を知り魅力を見つけよう』と企画されたものと伺っています。

滝ダム到着後、ダム堤体内に入り、ゲート等の施設や過去の水害状況写真を案内しました。見学者のみなさんは、メモを取りながらダムの様子や目的（役割）について熱心に学んでいました。

【見学の様子】



滝ダムの目的（役割）

- ・洪水調節
 - ・流水の正常な機能の維持
（河川環境の保全等）
 - ・発電
- ぜひ覚えてね！

全員で記念撮影

当日の天気は、あいにくの雨でしたが、見学者のみなさんは元気いっぱい。長靴や薄手のジャンパーなど対策はバッチリ。マスクの装着も完璧です。



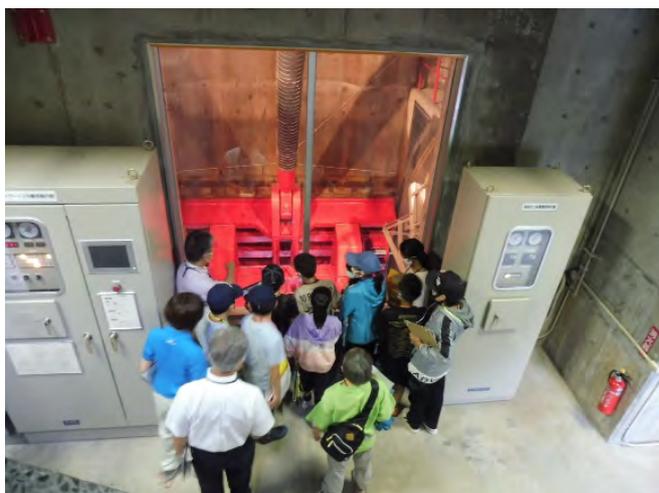


ダムの模型

ダムの模型を見ながら、今まで通ってきたルートや、ゲートの位置とその役割、現在みんながいる場所を模型で説明しました。模型で見るとわかりやすいねえー。

ゲートの一部

右後方の赤い筒状の機械は、コンジットゲートの一部です。見学者の一人は「ロボットみたいで形がおもしろい。」との感想を話してくれました。



ゲートの扉体

中央に見える赤いものが、コンジットゲートの扉体です。重さは約20トンもあります。ダム下流への放流量を調節するとき等に開閉する操作をします。

過去の水害の様子

滝ダム下流部の市街地が、過去に被害を受けた写真を展示しています。昭和41年と42年の大雨で大きな被害を受けて、滝ダム建設事業の要望のきっかけとなりました。



【見学者の感想、質問と回答】

【見学者の感想】

- ・エレベーターを降りてすぐの場所（ダム堤体内の監査廊）が涼しくてびっくりした。
- ・監査廊の位置（高さ）が、ダムの貯水面よりも下の位置（高さ）なので驚いた。
- ・下流に流している水の勢いがすごかった。

【質問と回答】

- ・監査廊の気温は？→（温度計より）13℃。（夏は涼しく、冬は暖かく感じます。）
- ・ゲートは何の力で動かすの？→電気力と油圧力です。
- ・発電の規模は？電気はどこに？→最大出力450kw。久慈地域エネルギー株式会社を通して久慈市内の施設（アンバーホールや小久慈市民センター等）に供給されています。

【見学を終えて～御案内】

今回の見学会が、地域に資するダム・地域に親しまれるダムとしての啓発の一助になり、そして、少しでもダムの魅力を感じていただけたなら、たいへんうれしく思います。

見学は随時受け付けていますので、滝ダム管理事務所まで御連絡下さい。
連絡先電話番号：0194-59-3838

【滝ダムのレアな風景】

ライトアップ（7/21～7/31）



ダムにかかる虹

